

# NEWS RELEASE

2021年1月4日

三菱アルミニウム株式会社

取締役社長 木村 良彦

## 2021年 社長年頭挨拶(要旨)

明けましておめでとうございます。

コロナ禍が続くなか、例年通りとはいかないお正月を迎えた方も多いかと存じますがリフレッシュされましたでしょうか？

昨年1年で社会状況は大きく変わりました。1年前は、アルミ業界全体が厳しい状況に置かれていることを踏まえ年頭挨拶を致しましたが、新型コロナウイルスがここまで猛威を振るうとは予期せず、感染は中国を中心にしたものに留まると予測していました。ところが、その後はご存知のように、世界に拡大し、当社とも関係が深い自動車産業等で大幅な減産となりました。アルミ圧延業界全体が大きな打撃を受けております。

当社においては、厳しい経営状況の中、再建計画を進めて参りましたが、その途上で更なる猛威にさらされたこととなります。しかしながら、再建計画の着実な実施により業績は大幅に改善されてきました。

今年は丑年です。「丑」とは、漢字としては「紐(ひも)」の意味だそうです。植物の種から紐のように芽が出て、大きく成長に向かって動き出すことを象徴する干支です。近年行った設備投資やコストダウン等の様々な努力の芽が大きく成長し、本年が良い年となりますように心から祈っております。今年も、安全、コンプライアンス、品質をしっかりと守りながら、事業を伸ばしましょう。

特に以下3点に留意願いたく存じます。1点目は、今回の新型コロナによってもたらされた変化は不可逆であり、デジタルトランスフォーメーションを始めとした変革を認識し柔軟に対応すること。2点目は、現在進んでいるテレワーク等もさらに活用し、働き方改革を進めること。3点目は、攻めの品質管理のレベルをさらに向上することです。

厳しい状況ではありますが、変化が多いということはチャンスでもあります。市場の動向に柔軟に対応しながら機会損失を防ぎつつ、将来をにらんで集中と選択に果敢に挑み、飛躍に向けた良い1年となりますよう祈りながら、挨拶を締めさせていただきます。

本件に関するお問い合わせ先

三菱アルミニウム株式会社 総務部 (TEL:03-3769-0111)

以 上